

限りない未来の創造



2011年3月期 決算説明会

2011年5月25日
株式会社遠藤製作所
(7841)

— 目次 —



2011年3月期 決算概要

2012年3月期 業績予想

今後の取組み



2011年3月期 決算概要



2011年3月期 決算概要

- ゴルフ事業及び自動車等鍛造部品事業が堅調に推移したことで、増収増益
- 当期純利益は、黒字転換する
- 生産能力の増強、生産性の向上や改善等の製造コスト低減を推し進める
- 主力のゴルフ事業において、アイアンヘッドの鍛造・金型工程をタイへ完全移管した効果が表われる

■業績

(百万円)

	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考	(期初予想)
売上高	13,361	17,070	3,709	27.8%		16,144
営業利益	389	1,328	939	241.4%		1,291
経常利益	456	1,147	691	151.6%		1,143
当期純利益	▲208	868	1,076	—		900

■費用

(百万円)

	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考	(期初予想)
減価償却実施額	1,174	1,122	▲52	▲4.4%		1,072
設備投資額	838	1,192	354	42.2%		1,145

■期中平均為替レート

	10.3期	11.3期			前年同期比較	(期初予想)
円/Baht	2.75	2.75			前年同期と同じ	2.90
円/Us\$	92.84	85.72			7.12円の円高	90.00



2011年3月期 セグメント別売上高及び営業利益

■売上高

(百万円)

	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考	(期初予想)
ゴルフ事業	8,507	10,568	2,061	24.2%		9,837
ステンレス事業	1,202	1,082	▲120	▲10.0%		1,249
自動車等鍛造部品事業	3,651	5,419	1,768	48.4%		5,059
合計	13,361	17,070	3,709	27.8%		16,144

■営業利益

(百万円)

	10.3期	11.3期	増減額	増減率	備考	(期初予想)
ゴルフ事業	331	833	502	151.1%		801
ステンレス事業	107	145	38	35.6%		209
自動車等鍛造部品事業	438	946	508	115.7%		853
消去又は全社	▲488	▲597	▲109	-		▲572
合計	389	1,328	939	241.4%		1,291

■営業利益率

	10.3期	11.3期			備考	(期初予想)
ゴルフ事業	3.9%	7.9%				8.1%
ステンレス事業	8.9%	13.4%				16.7%
自動車等鍛造部品事業	12.0%	17.5%				16.9%
合計	2.9%	7.8%				8.0%



キャッシュ・フロー、貸借対照表、財務指標

キャッシュ・フロー

(百万円)

	10.3期	11.3期	差異	増減率	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,577	2,980	1,403	89.0%	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲727	▲1,163	▲436	-	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,024	▲276	748	-	
現金及び現金同等物の増減額	▲157	1,466	1,623	-	
現金及び現金同等物の期末残高	1,805	3,272	1,466	81.3%	

貸借対照表

(百万円)

	10.3期	11.3期	差異	増減率	備考
流動資産	9,737	10,784	1,047	10.8%	
固定資産	8,045	7,911	▲134	▲1.7%	
流動負債	3,975	4,372	397	10.0%	
固定負債	2,885	2,782	▲103	▲3.6%	
純資産	10,921	11,540	619	5.7%	
総資産	17,783	18,695	912	5.1%	

財務指標

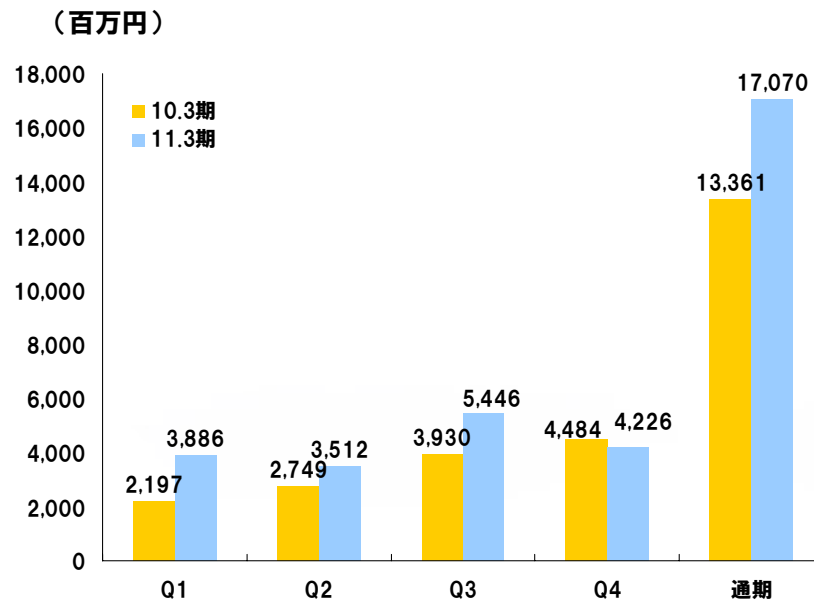
	10.3期	11.3期
自己資本比率	61.4%	61.7%
1株当たり純資産(円)	1,202.84	1,240.71
1株当たり純利益(円)	▲23.00	95.55
自己資本利益率(ROE)	-	7.7%
総資産利益率(ROA)	-	4.8%



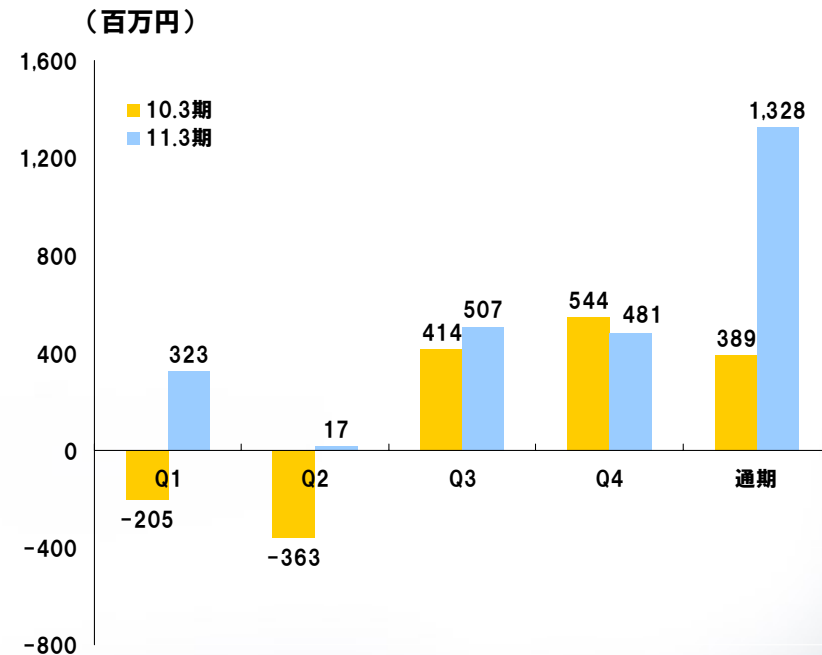
2011年3月期 四半期ごとの業績推移

- 売上高は、Q1～Q3で前年同期を上回り、通期では27%の増収
- 営業利益は、製造コストの低減等を推し進め、Q1、Q2で黒字に転換し、通期では241%の増益

売上高の推移



営業利益の推移

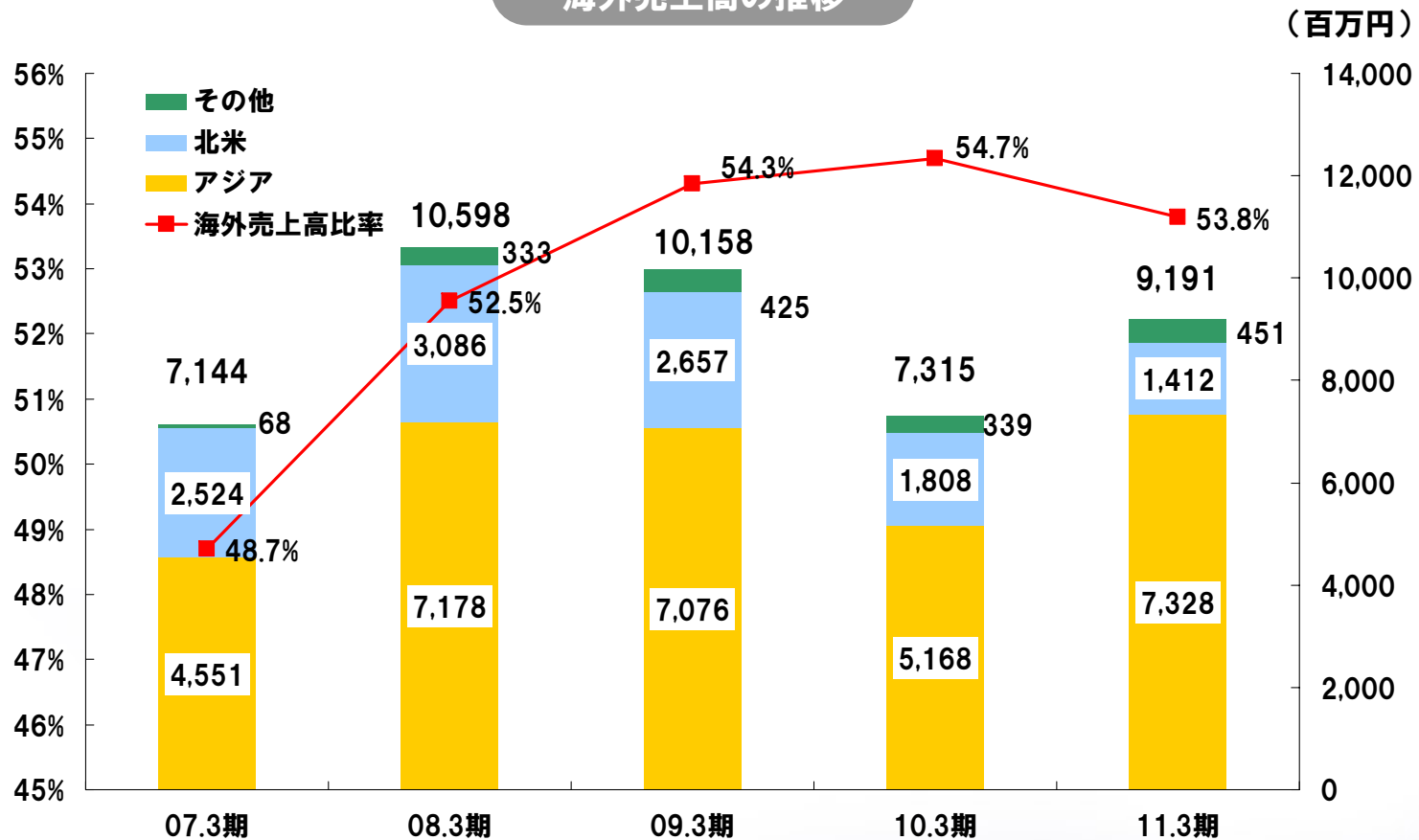


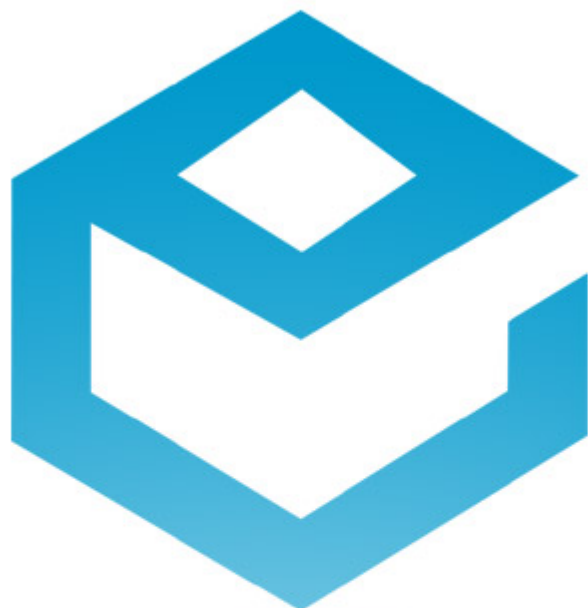


海外売上高の推移

- 海外市場の拡大に伴い、海外売上高が増加
- 新たな海外市場の拡大から、グローバル化を推し進める

海外売上高の推移





2012年3月期 業績予想



2012年3月期 業績予想

- 自動車等鍛造部品事業は堅調が見込まれるものの、震災の影響による国内消費マインドの冷え込み等から、ゴルフ事業で受注の減少が予想される

業績 (百万円)

	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	備考
売上高	17,070	16,350	▲720	▲ 4.2%	
営業利益	1,328	858	▲470	▲ 35.4%	
経常利益	1,147	768	▲378	▲ 33.2%	
当期純利益	868	585	▲283	▲ 32.6%	

費用等 (百万円)

	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	備考
減価償却実施額	1,122	1,238	116	10.3%	
設備投資額	1,192	910	▲282	▲ 23.7%	

期中平均為替レート

	11.3期	12.3期予			備考
円/Baht	2.75	2.70			
円/Us\$	85.72	82.00			

1株当たりの配当金

	08.3期	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期予
一株当たりの配当金	10.00円	10.00円	10.00円	10.00円	10.00円



2012年3月期 セグメントごとの業績予想

売上高

(百万円)

	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	備考
ゴルフ事業	10,568	9,322	▲1,246	▲11.8%	
ステンレス事業	1,082	1,109	27	2.5%	
自動車等鍛造部品事業	5,419	5,918	499	9.2%	
合計	17,070	16,350	▲720	▲4.2%	

営業利益

(百万円)

	11.3期	12.3期予	増減額	増減率	備考
ゴルフ事業	833	384	▲449	▲53.9%	
ステンレス事業	145	17	▲128	▲88.3%	
自動車等鍛造部品事業	946	1,007	61	6.4%	
消去又は全社	▲597	▲551	46	▲7.7%	
合計	1,328	858	▲470	▲35.4%	

営業利益率

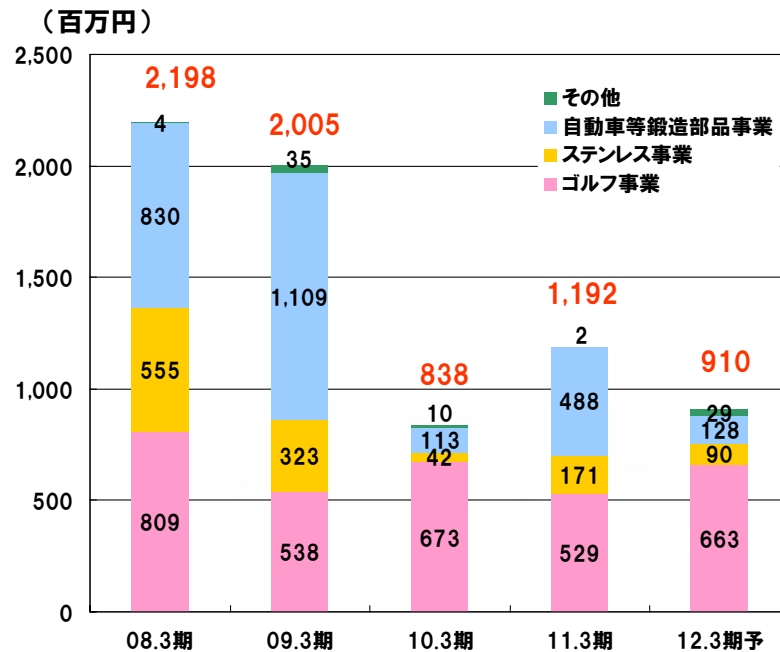
	11.3期	12.3期予			備考
ゴルフ事業	7.9%	4.1%			
ステンレス事業	13.4%	1.5%			
自動車等鍛造部品事業	17.5%	17.0%			
合計	7.8%	5.2%			



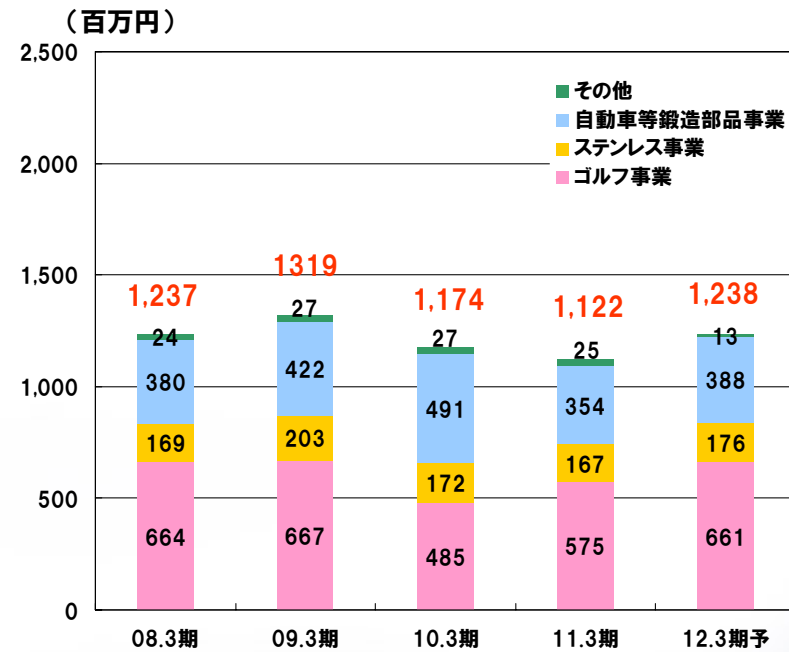
設備投資、減価償却の推移、計画

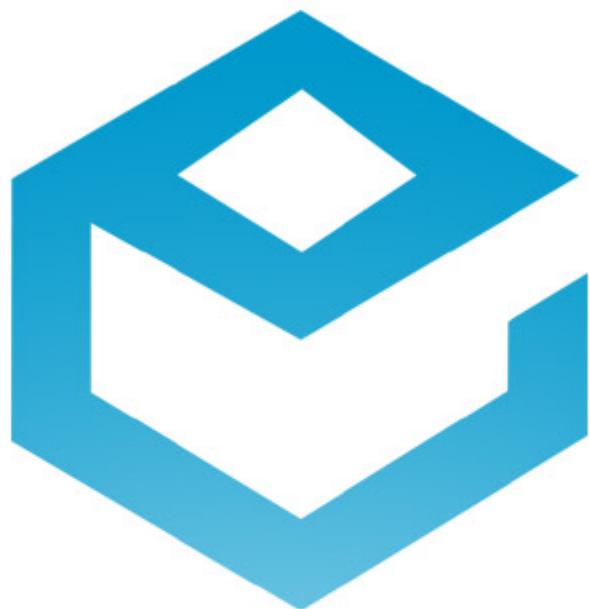
- 11.3期は開発用の機械設備を拡充し、開発力の強化を図る
- 12.3期は生産の機械化等の推進で、更なる生産の効率化・製造コスト低減を推し進める

設備投資額の推移・計画



減価償却費の推移・計画





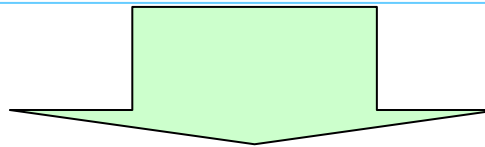
今後の取組み



Only One企業を目指して

①金型設備の完全自社製造・修理体制 ②鍛造技術を活かした一貫生産体制 ③塑性加工技術の追求・進展

- ・ゴルフクラブヘッドから極薄管(メタルスリーブ)・自動車等鍛造部品までの総合的な鍛造・塑性加工工場
- ・開発・生産のリードタイム短縮とコスト低減を実現
- ・メタルスリーブの技術を活かした水平・垂直戦略の追求
- ・イレギュラ要望と大量受注への対応



ゴルフクラブヘッド

- ・提案型開発の強化
- ・製品での差別化
- ・全工程タイ移管による更なるコスト削減

メタルスリーブ

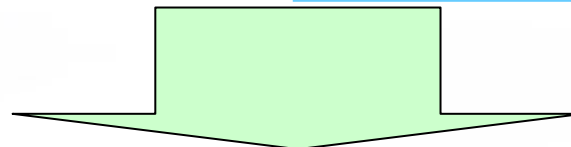
- ・技術、コスト面で圧倒的優位
- ・省エネ対応
- ・製造装置の自社設計

自動車等鍛造部品

- ・エアーハンマープレスを駆使
- ・多品種小ロット・イレギュラ対応
- ・独立系の自由度を活かした幅広い取引先開拓

インプラント(人工関節)

- ・医療関連事業の新たな取引先の拡大
- ・鍛造製法によるCCM(コバルトクロムモリブデン)材インプラントの量産



あらゆるニーズに即応し、圧倒的に高度な総合的鍛造精度



アイアン・・軟鉄鍛造

ウッド・・鍛造4ピース

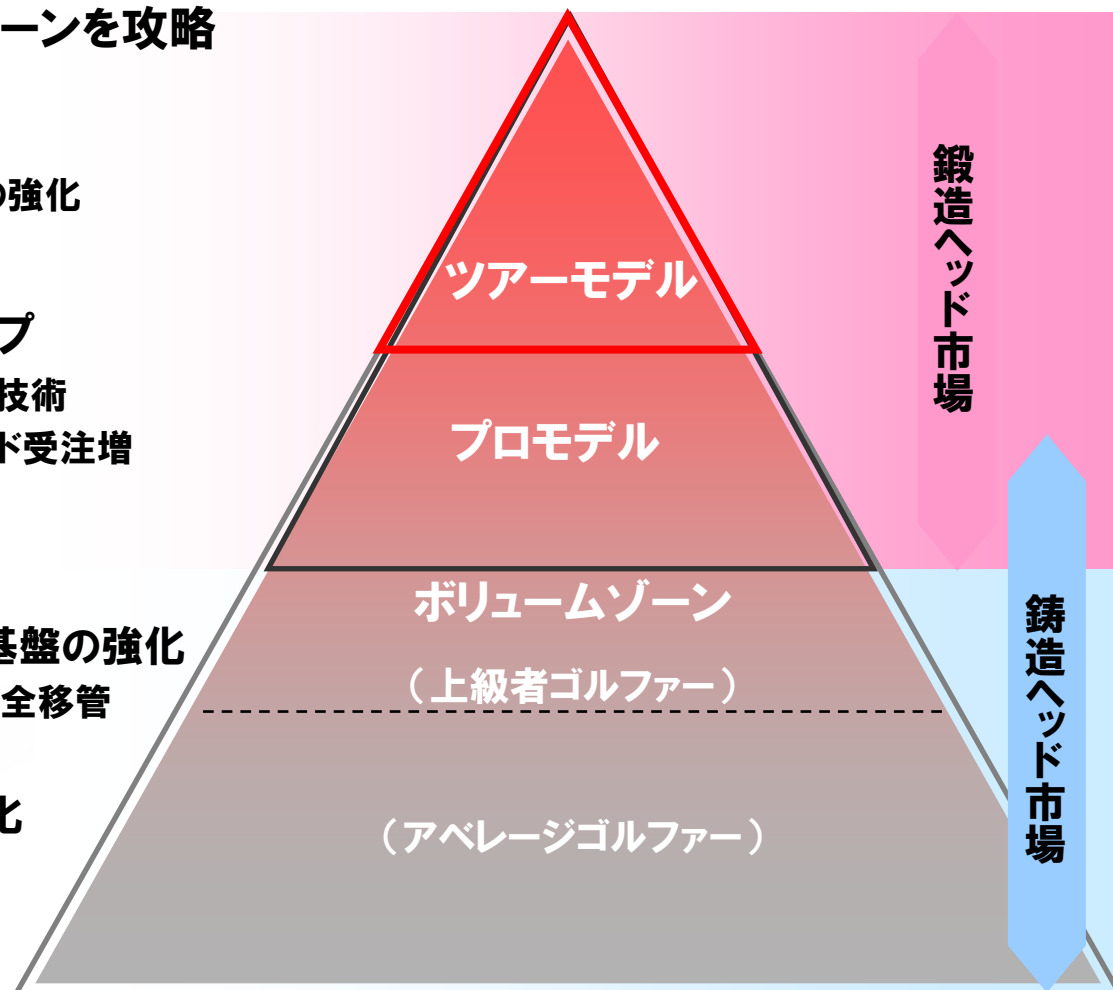
アイアン

- 鍛造ヘッドでボリュームゾーンを攻略
 - ・ コスト圧縮
 - ・ 製品の差別化
 - ・ 鍛造製ハイブリッドヘッドの強化

ウッド

- 更なる軽量化、機能アップ
 - ・ 冷間圧延素材、薄肉加工技術
 - ・ 開発・提案により高額ヘッド受注増
- 更なるグローバル化と経営基盤の強化
 - ・ 鍛造・金型工程をタイへ完全移管
 - ・ 国内での開発力強化
- タイ工場ライン化の推進強化
 - ・ 生産性の向上

ゴルフ市場





ゴルフ事業の取組み

①製品の差別化

鍛造技術の開発・強化等

- 国内市場でのシェアアップ
- 付加価値アップ
- カスタムフィッティングクラブの広まり

②リードタイム短縮

グローバル展開を加速

- 中国アジア市場でのシェア獲得
- 欧米市場での事業拡大

③コスト削減

クラブメーカーに還元

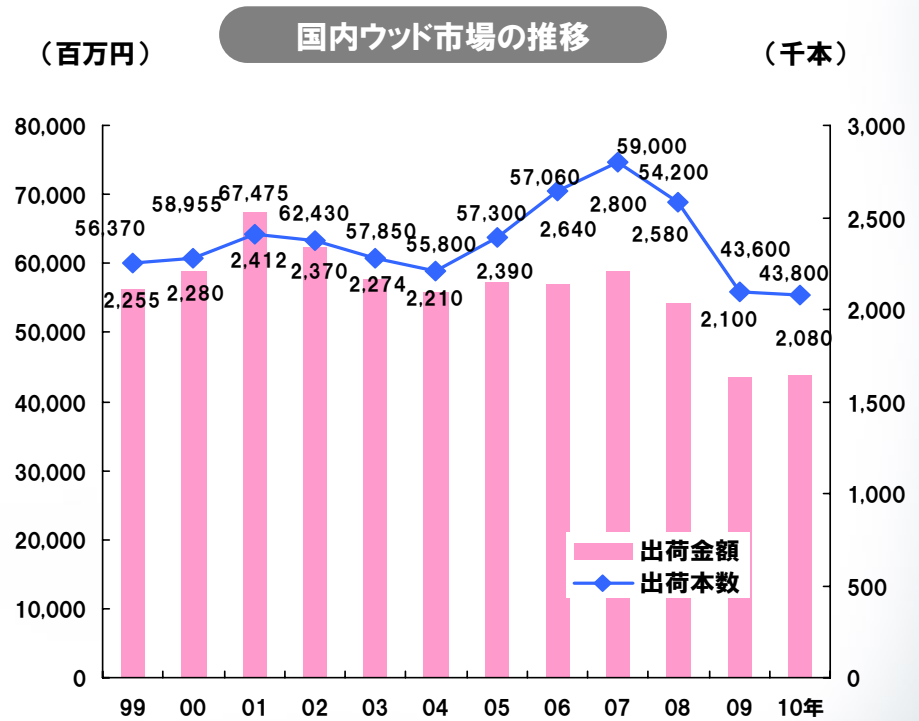
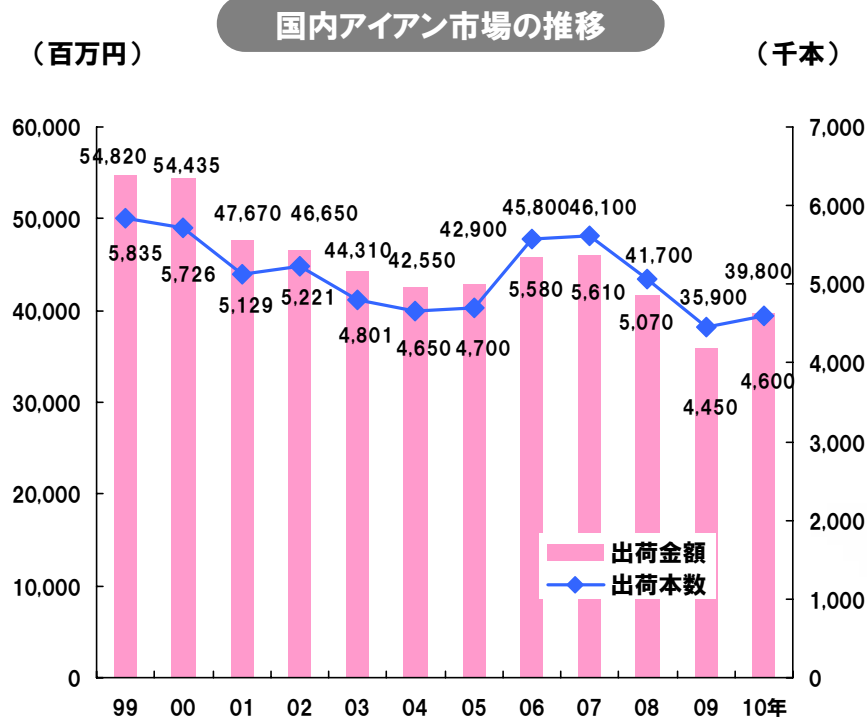
- 鍛造ヘッド市場・ボリュームゾーンの攻略
- 生産の機械化対応

**鍛造技術の精度の高さを武器に、
全世界のニーズに対応**



国内ゴルフ市場の推移

- 出荷金額において、アイアン市場は09年比3%増、ウッド市場はほぼ横ばい
- 女性と若手、シニア層を中心にゴルフ人口は増加傾向



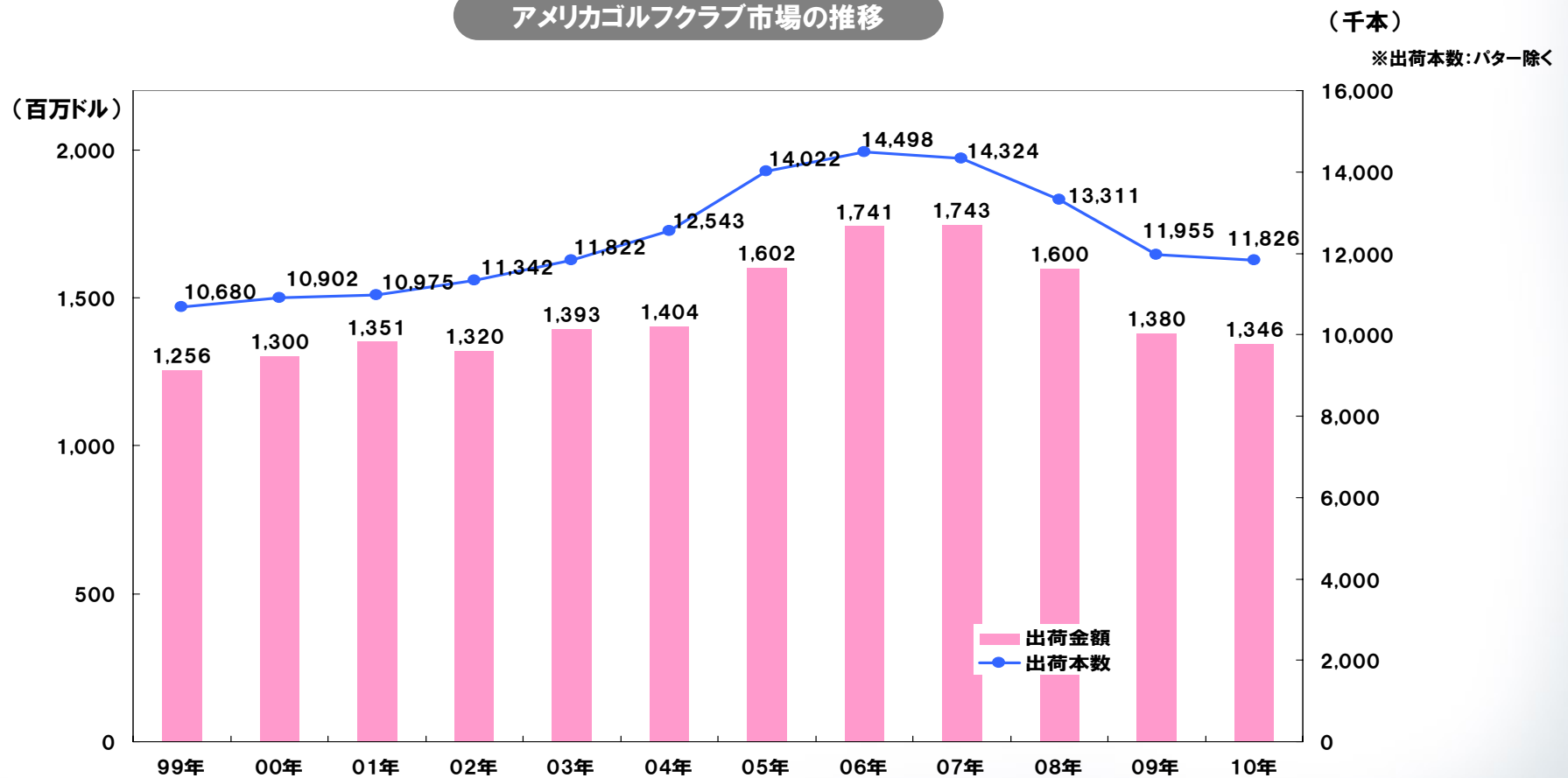
出所) 矢野経済研究所



アメリカゴルフ市場の推移

■ アメリカゴルフクラブ市場の回復は鈍く、2010年は、ほぼ横ばいの状況

アメリカゴルフクラブ市場の推移



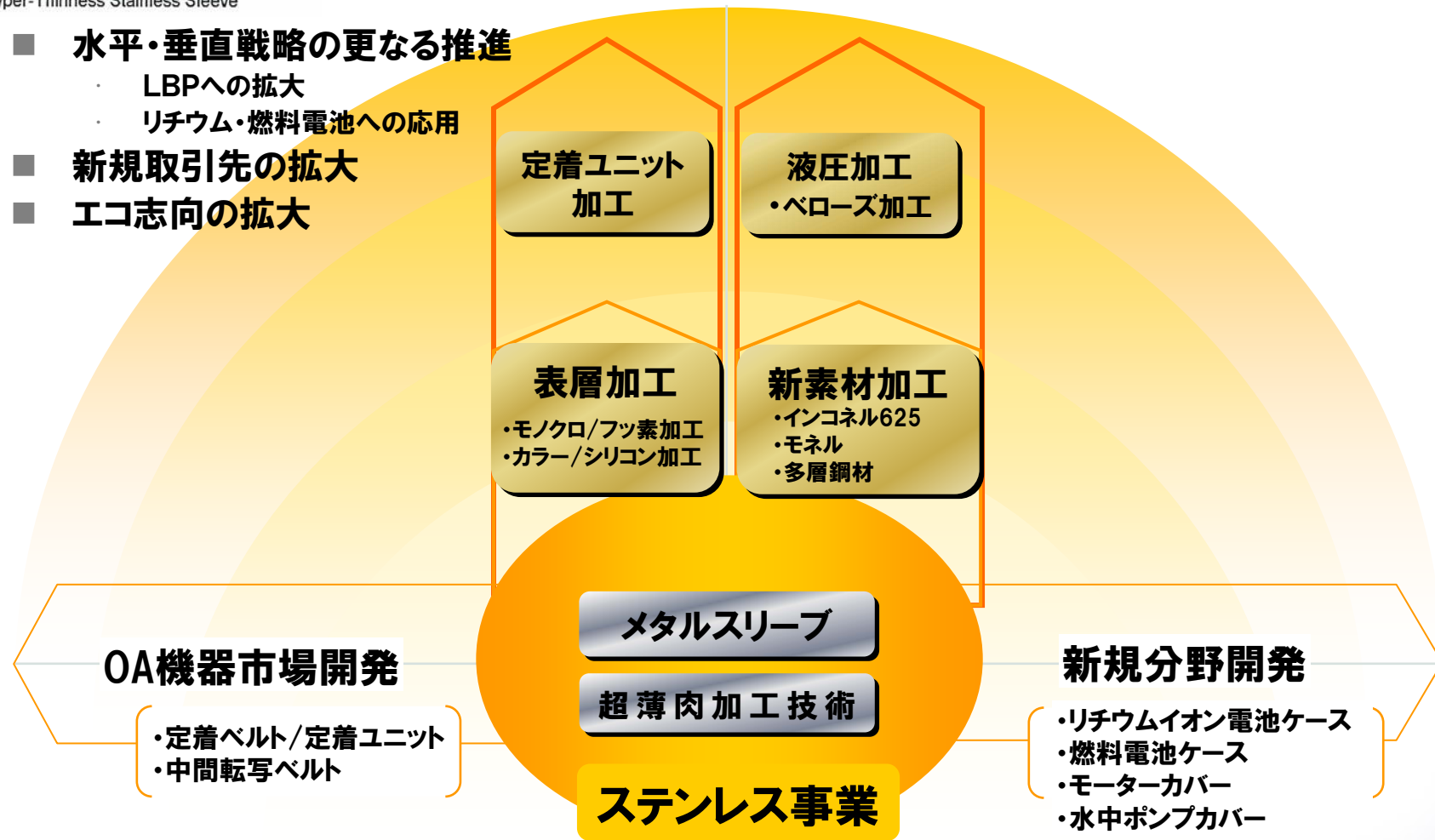


ステンレス事業の取組み

METAL SLEEVE[®]

Hyper-Thinness Stainless Sleeve

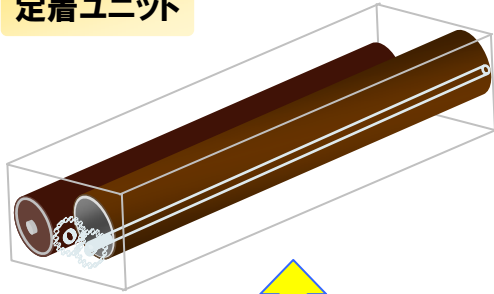
- 水平・垂直戦略の更なる推進
 - ・ LBPへの拡大
 - ・ リチウム・燃料電池への応用
- 新規取引先の拡大
- エコ志向の拡大





ステンレス事業

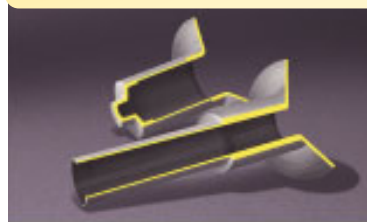
定着ユニット



ベローズ加工
スピニング工法により仕上がる
薄肉素材を用いた薄肉ベローズ



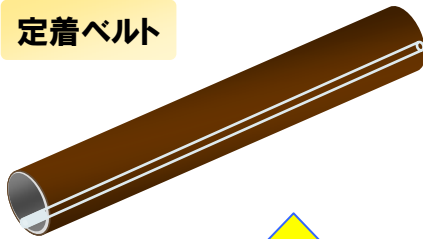
偏肉加工
部分的に板厚・肉厚を変えた加工が可能



小径薄肉パイプ
6-12mmの薄肉高精度シームレスパイプ



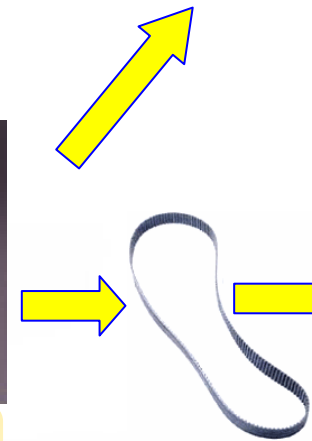
定着ベルト



表層
(フッ素/シリコン)



SUS METAL
超薄肉加工技術
通常引き抜きシームレスパイプにない高精度なシームレスパイプ



大径加工：
楕円形に薄く大きくする

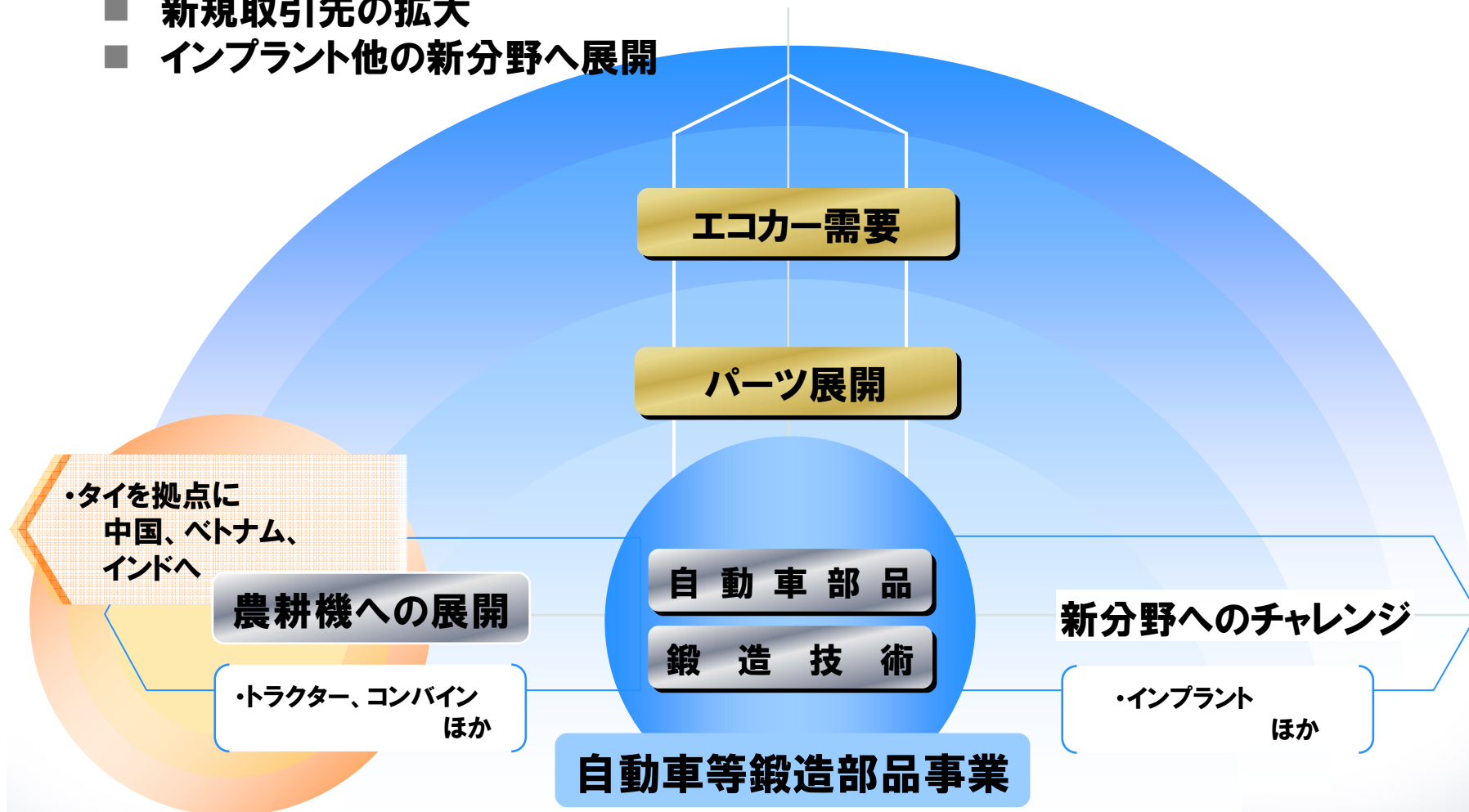


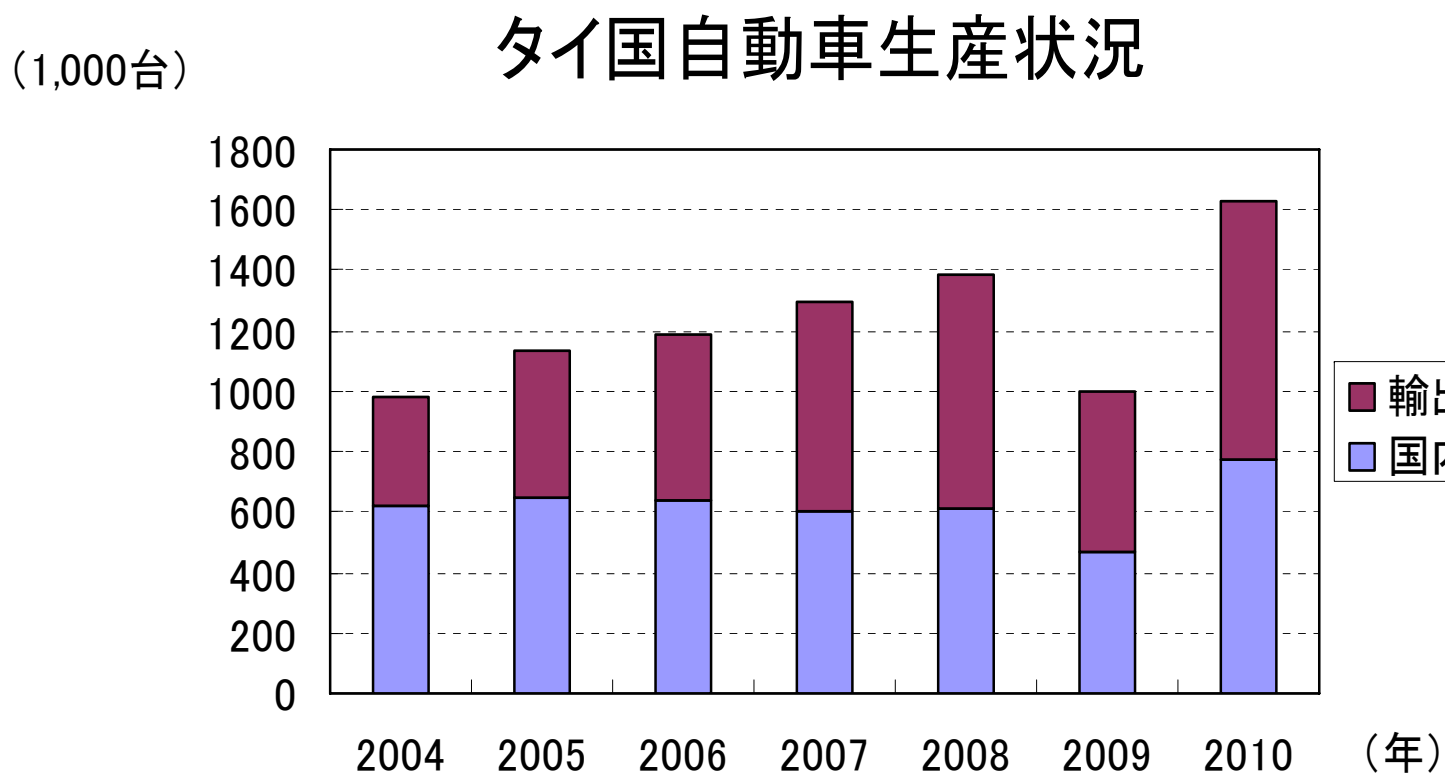
SUSベルト



自動車等鍛造部品事業の取組み

- 総合鍛造メーカーとしてのさらなる製品・技術の拡充
- 自動車・農耕機・二輪車分野でアジア周辺・中近東・豪州市場への展開
- 新規取引先の拡大
- インプラント他の新分野へ展開





2010年はTAIAの推定値

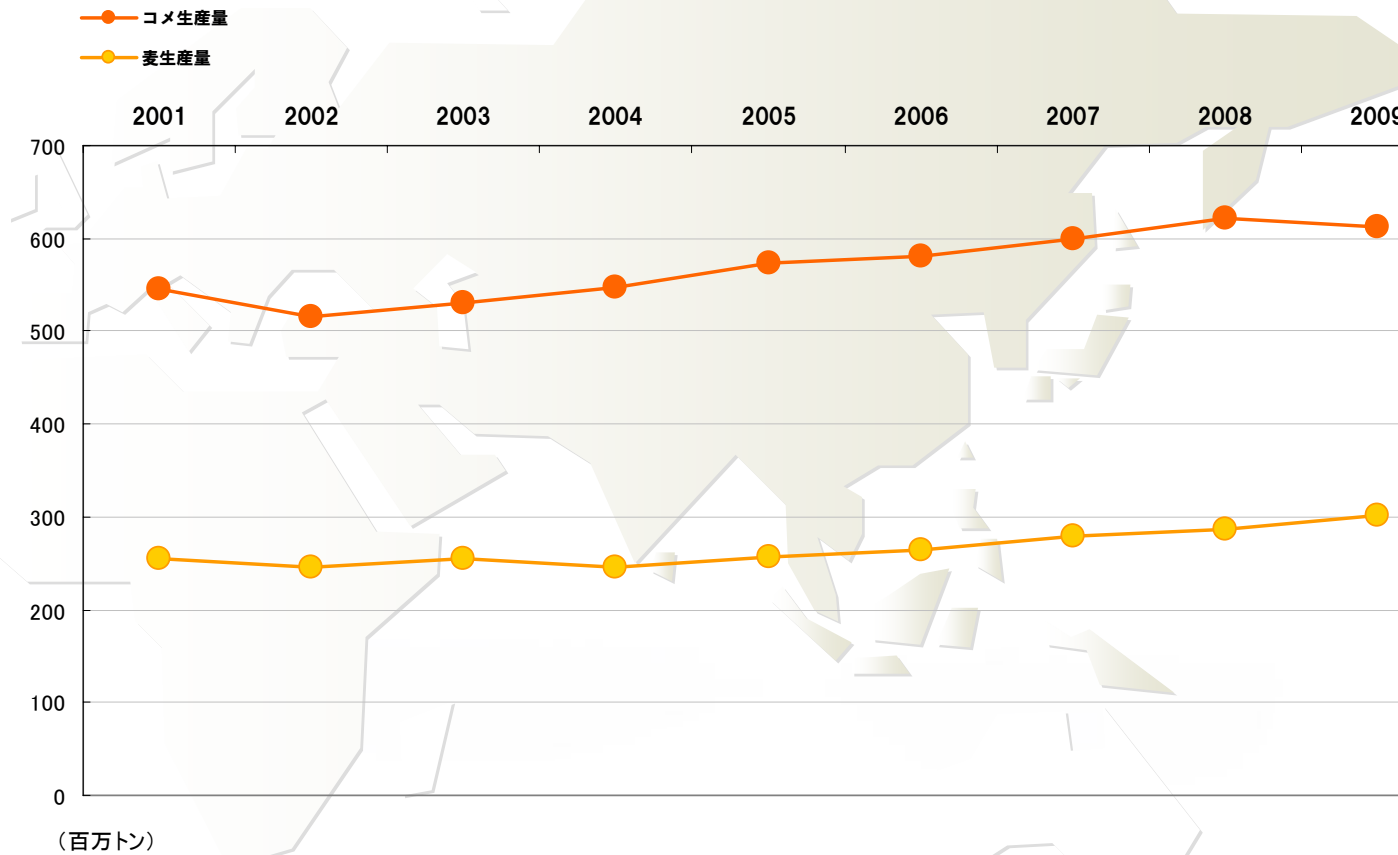
出所)タイ自動車工業会(TAIA)



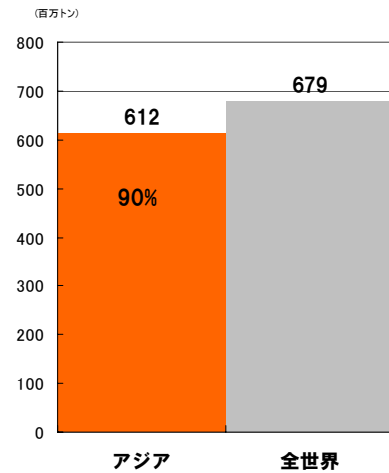
アジアは世界の穀倉地帯

■ 穀倉地帯は強大な農耕機市場

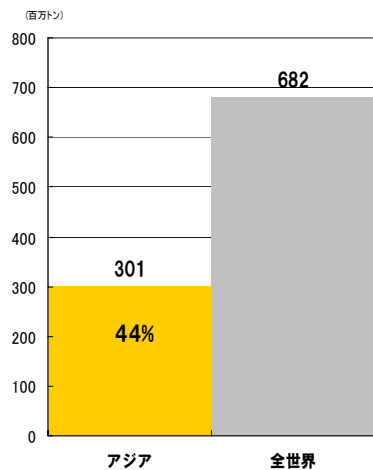
アジアでの穀物生産量推移



2009年のコメ生産量



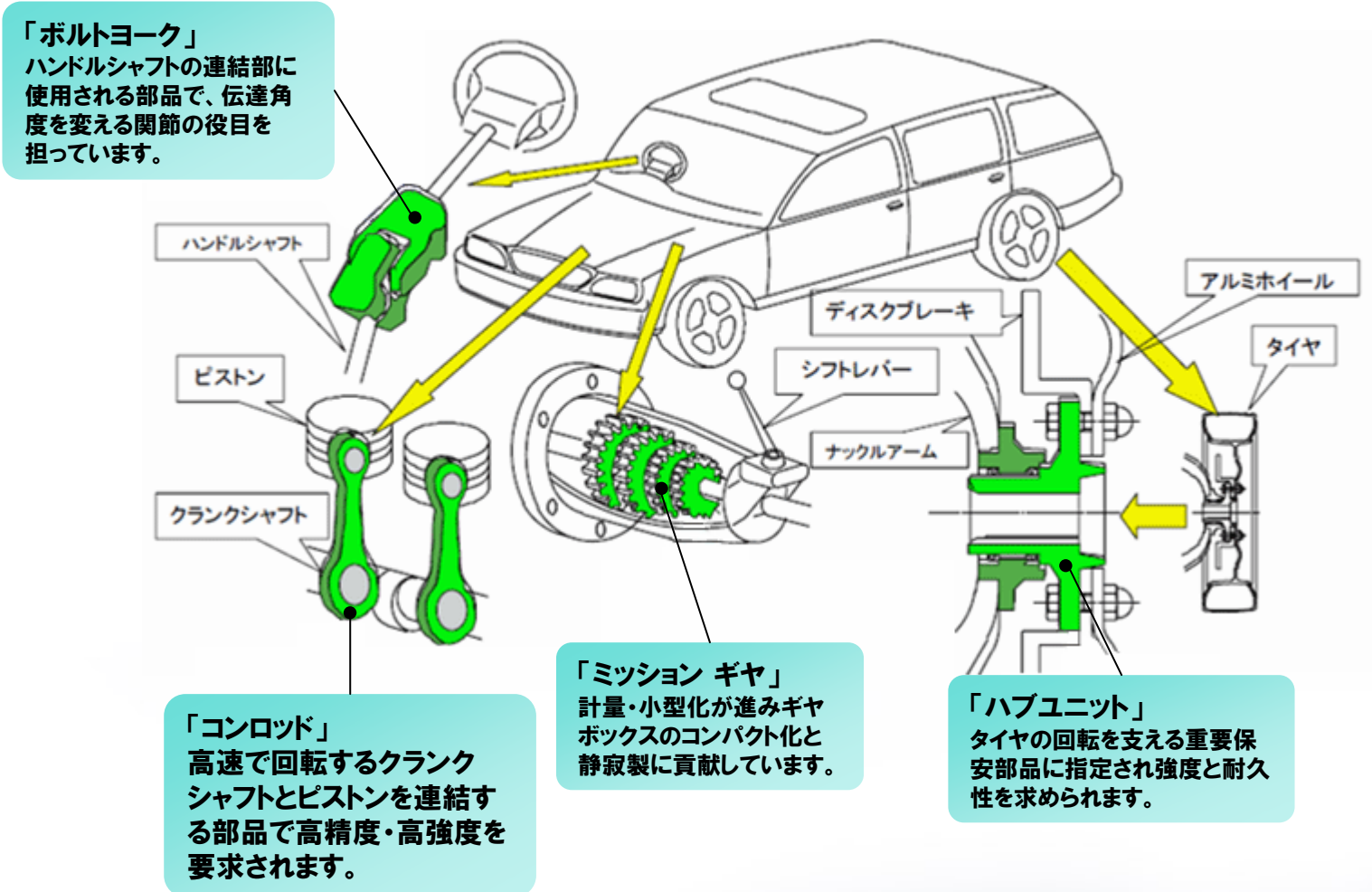
2009年の麦生産量



出所)FAOSTAT

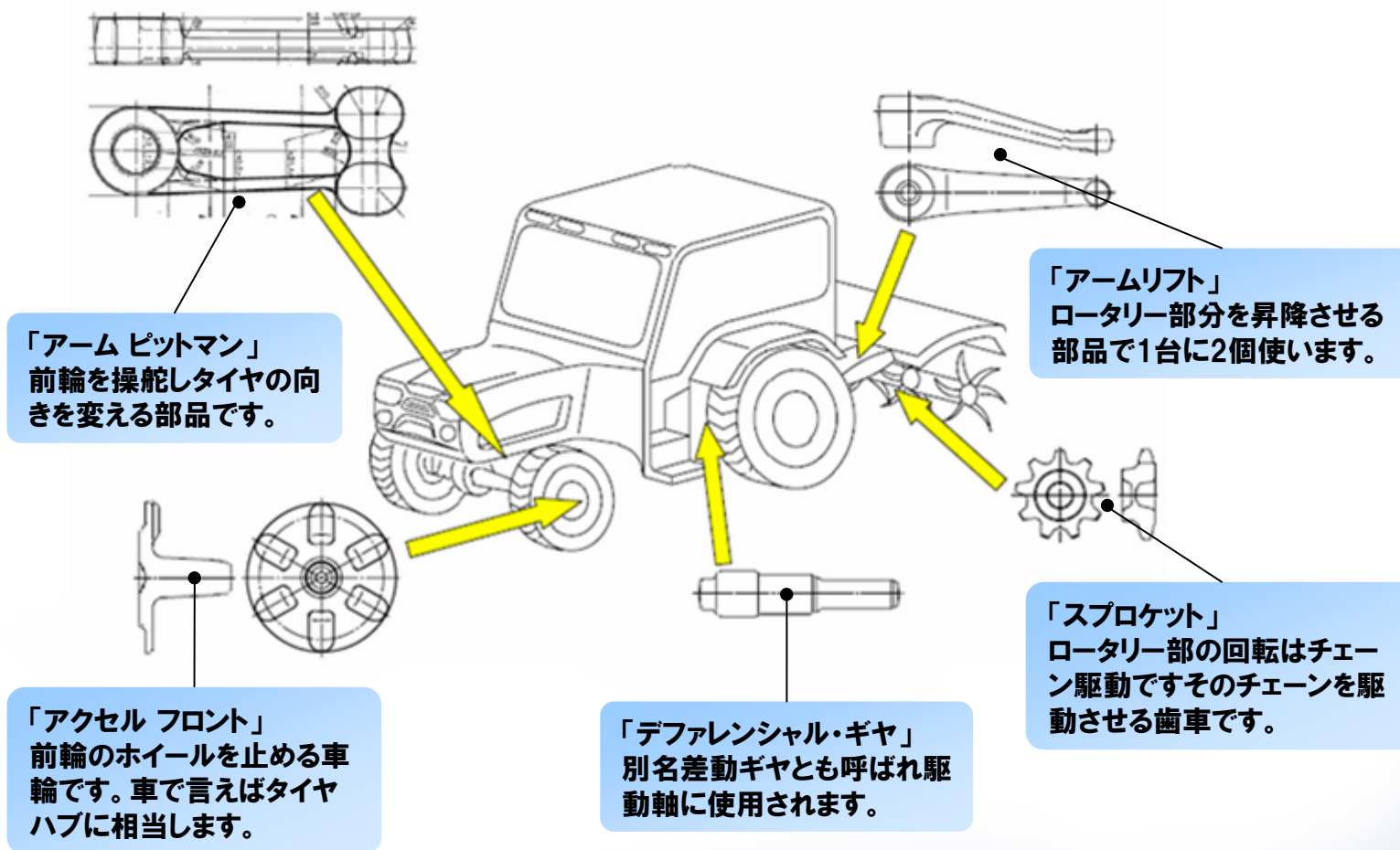


自動車用鍛造部品の水平展開





農機具用鍛造部品の水平展開



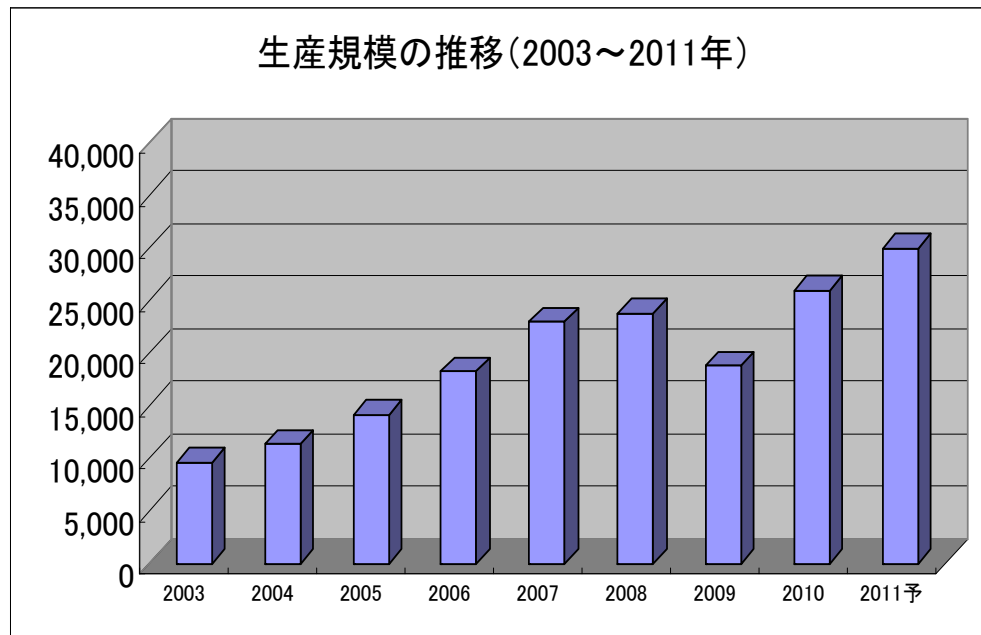


自動車等鍛造部品の生産実績

生産量(2003~2011年)

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011予
トン数	9,625	11,395	14,173	18,292	23,000	23,836	18,800	26,000	30,000

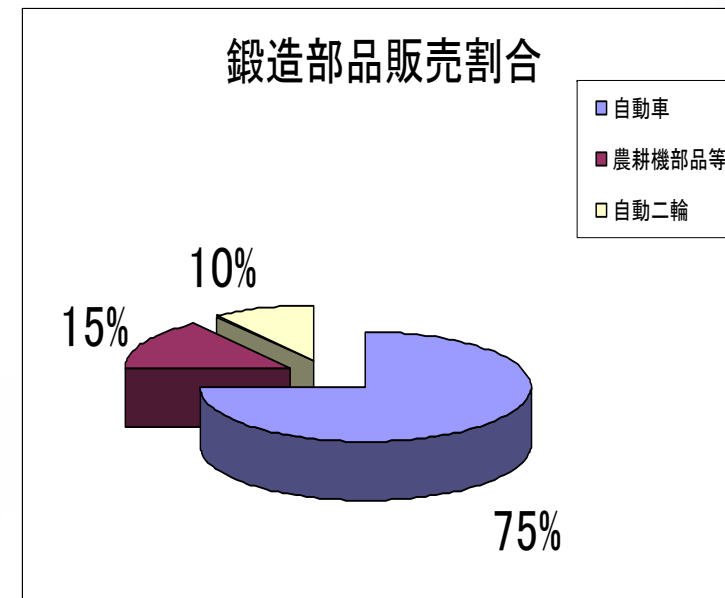
生産規模の推移(2003~2011年)



製品別の販売割合

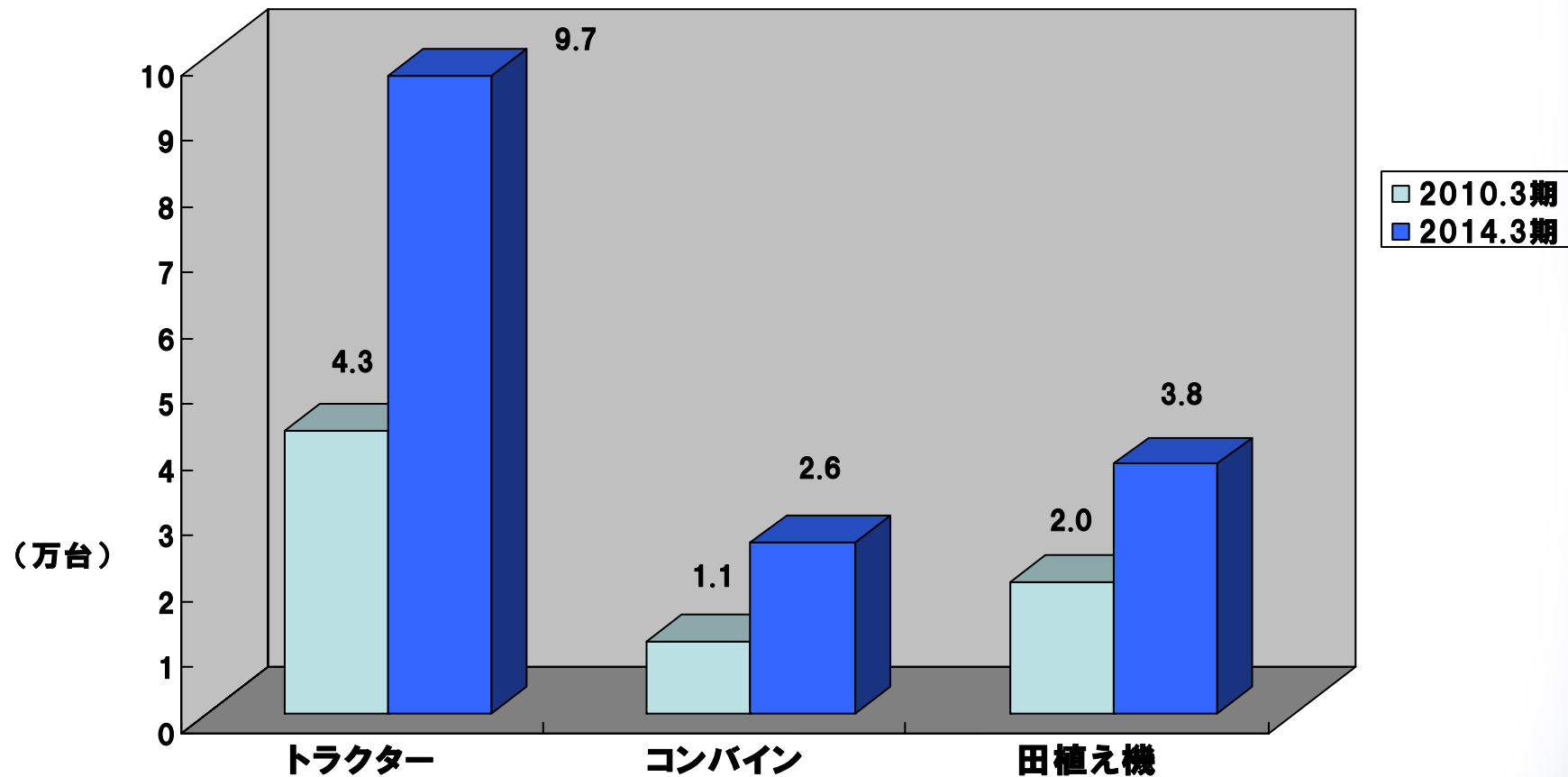
自動車部品	75%
農耕機部品等	15%
自動二輪部品	10%

鍛造部品販売割合





アジアでの機種別販売台数予想



出所)主要取引先の販売計画



グループ各社の認証取得状況

当社グループ各社の認証の取得

	認証	内容
当社	ISO13485 ※	医療機器用マネジメントシステム
	QMS ※	医療機器用マネジメントシステム（厚生労働省推奨）
ENDO THAI CO., LTD.	ISO9001	品質マネジメントシステム
	ISO14001	環境マネジメントシステム
ENDO STAINLESS (THAILAND) CO., LTD.	ISO9001	品質マネジメントシステム
	ISO14001	環境マネジメントシステム
ENDO FORGING (THAILAND) CO., LTD.	ISO/TS16949	品質マネジメントシステム（自動車産業）
	ISO9001	品質マネジメントシステム
	ISO14001	環境マネジメントシステム
	OHSAS18001	労働安全衛生マネジメントシステム
	AS9100 ※	航空機規格マネジメントシステム

（ ※は、今期取得予定 ）

本資料における注記事項

本資料は連結ベースで作成しております。

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社遠藤製作所(以下、弊社)の現状を理解して頂くため発表済みの決算内容や業績予想について作成したものです。

本資料に記された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料ならびにIR関係についてのお問い合わせ先

株式会社遠藤製作所 経営企画部・総務人事部

TEL:0256-63-6111 FAX:0256-62-6118

E-mail:e-mail@endo-mfg.co.jp

URL <http://www.endo-mfg.co.jp>